

### 1 計画全般について

【○】KPIのうちいくつかは目標値を越えた実績を達成する見込みあり、目標感を持った取組が奏功したことについて評価

【?】ただし、その目標値自体がどのような意味・意図をもって設定したのかは資料からは読み取れず、設定目標自体の妥当性や、今後の同等の計画を策定する際のロジックの整理は必要ではないか

【△】KPIのうち「将来、町に住みたいと思う子どもの割合(中学3年)」や「お達者度(意味は?)」など、地域住民にとってのまちの良さに関する目標感はどうだったか。目標の多くが「転入増」を目標としており、まちひとしごと創生推進計画故にやむなしかもしれないが、この計画を通じて町民や町内事業者にとっての「よいこと」も喚起していく必要があるのではないか。

【△】「短期お試し移住の参加者数」「観光交流客数」「宿泊客数」など、町の外の方の評価は厳しく、コロナ禍でかつ全国各地で同等の活動が行われている中、特長ある尖った取組は必要ではないか

【?】企業版ふるさと納税の実績は重要と思われるも、その定性的評価(関わってもらってどうだったか、どんな成果が生まれたか)を行い、今後の新たな企業との戦略的な連携に活かすべき

●良く考えられていると思います

●本戦略は今後の町の戦略上重要なよりどころとなる指針である。

●体系、目標、事業をみると、まんべんなく注力するよう受け取れる。限りある財布、体制を勘案すると全分野すべてに注力することに無理がないか、例えば明確な優先順位を付けるなどの視点も重要

●賀茂地域広域連携会議で調整中の「賀茂地域の未来予測」の作成とすり合わせを図るため、引き続き連携してやっていきましょう。

●目標設定において見直されたい点(例)・出会いサポート事業登録者…潜在母数を勘案して設定目標をあげる。・空き家活用件数についても同様に引き上げを、また、全体に対する割合は?

●計画策定にあたり、町民意見を聴く機会を設け、合意形成することが必要

●地域防災：能登半島地震を受け、前期から見直した点は?

小中学校統合を踏まえた点は?

町制施行70周年、節目の年となる

●目次があると見やすい

### 2 施策の体系等について

【○】KPIのうちいくつかは目標値を越えた実績を達成する見込みあり、目標感を持った取組が奏功したことについて評価

【?】ただし、その目標値自体がどのような意味・意図をもって設定したのかは資料からは読み取れず、設定目標自体の妥当性や、今後の同等の計画を策定する際のロジックの整理は必要ではないか

【?】「子育てだけじゃない」の真意については気になります。

【今後】利用者である親世代にとってのニーズや想いを汲み取った今後の計画に期待します。

【今後】支援整備と支援の運営費について不明であります、その費用対効果をより高める為の次の施策について如何でしょうか

●南伊豆町の抱える課題が網羅されており、しっかりと体系づけられています。

### 3 基本目標6(新規設定)について

【○】移住者数、デジタル人材の数、空き家活用数、共同作業に対する参加者数ともに、南伊豆町の立地の厳しさに対して顕著な効果を挙げていると考えられます。

【今後】この参加者たちが地域への貢献に継続的に関わられることや、この方々が核となって新たな取組が起こることを期待します。特に昨今「二拠点居住」に関する注目が高まりつつあり、そういった層の取り込みを通じてデジタル化の方策も併せて検討いただけたらと思います。

●デジタルや新技術はこれからの時代では、非常に重要なテーマだと考えます。これを基本目標に加えていただいたのはとても良いと思います。